県・沿線市町同時発表

神奈川県、相模原市、海老名市、座間市、寒川町

Press Release

寒川町

令和７年２月13日

都市計画課

令和６年度「相模線複線化等促進期成同盟会」要望活動の実施について

相模線複線化等促進期成同盟会（会長：相模原市長）では、神奈川県や沿線４市１町、沿線の経済団体と連携し、相模線の複線化の実現に向けた活動を行っております。

この度、次のとおり要望活動を実施いたしましたのでお知らせします。

１　日　時

令和７年２月１２日（水）　午前１０時００分から午前１０時２０分まで

２　要望先

東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長　矢野　精一　氏

３　要望者

相模線複線化等促進期成同盟会 会長　相模原市長 本村 賢太郎

４　参加者

・相模原市長　　本村 賢太郎

・海老名市長　　内野 優

・茅ヶ崎市副市長　塩崎 威

・座間市長　　佐藤 弥斗

・寒川町長　　木村 俊雄

・神奈川県 県土整備局 都市部長　近藤 修宏

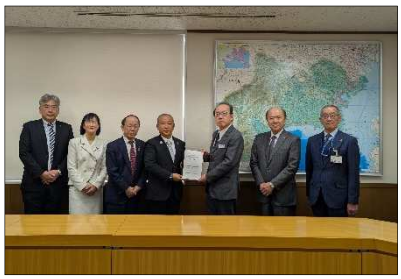
５　主な要望内容

別添要望書のとおり

6　矢野横浜支社長の発言概要

相模線の複線化は、莫大な設備投資を要するため、資産の効率的な活用という経営課題と併せて考慮が必要であり、現時点では厳しい状況であると認識している。今後の沿線まちづくりや地域公共交通の変化、またお客さまのご利用動向など総合的に判断し、長期的に検討する必要があると考えている。

【要望活動の様子】



（左から）近藤県土整備局都市部長、佐藤座間市長、内野海老名市長、
本村相模原市長、矢野横浜支社長、木村寒川町長、塩崎茅ヶ崎市副市長

問い合わせ先
都市建設部都市計画課　課長　水越　豊　☎0467(74)1111　内線 320

令和６年度
相模線複線化の早期実現
に関する要望書

東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社長

矢 野　　精 一　殿

相模線複線化等促進期成同盟会

相模線複線化の早期実現に関する要望書

【要望事項】

リニア中央新幹線の開業を見据えた整備や各自治体のまちづくりが着実に進展する中、相模線の輸送力増強や速達性向上等、輸送サービスの改善が望まれることから、信号保安設備の改修や行違い施設の整備、部分複線化等の段階的整備を図り、沿線住民の切なる願いである、相模線全線複線化の早期実現に向けた取組を推進されますよう要望します。

相模線の現状

・ 東京都心から約50㎞に位置する相模線は、東海道本線や横浜線など東京や横浜方面に向かう5つの路線と接続しているが、単線のため、列車の行違いの待ち時間等により表定速度が低く、運行本数も少ないなど、周辺の鉄道と比較して十分な輸送サービスが確保されていない。

相模線を取り巻く環境

・ 平成28年4月の交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、「新幹線駅へのアクセス改善や通勤・通学需要の急増等、輸送需要の動向等を踏まえて、例えば相模線、南武線等の輸送サービスの改善に資するプロジェクト等については、関係地方公共団体・鉄道事業者等において、検討が進められることを期待」と位置付けられている。

・ 「新かながわグランドデザイン」において、相模線複線化などの促進が位置付けられているとともに、「かながわ都市マスタープラン」において、全国との交流連携の窓口となる南のゲート（東海道新幹線新駅：倉見駅付近）と北のゲート（リニア中央新幹線駅：橋本駅付近）を結ぶ相模連携軸の整備・強化が位置付けられている。

・ 東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と相模川対岸の平塚市大神地区では、平塚市大神地区のまちびらきがされたことに加えて、寒川町倉見地区においても、令和9年度を目途に都市計画の手続を開始できるよう取り組むこととしており、環境と共生する魅力ある一体的な都市を目指す「ツインシティ」の整備に向けた取組が進んでいる。

・ リニア中央新幹線開業に向けた取組が進められており、倉見駅付近への東海道新幹線新駅設置の可能性が高まっている。

・ リニア中央新幹線の駅が設置される相模原市橋本駅南口地区では、「相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン」が策定され、まちづくりが進められている。

・ 神奈川東部方面線の開業により、県央・湘南地域から、東京、埼玉まで、広域的な鉄道ネットワークが形成され、相模線沿線の利便性向上や地域活性化につながっている。

・ 小田急多摩線（上溝駅方面）や相鉄いずみ野線（倉見駅方面）の延伸等の交通ネットワーク拡充による、東京都心や横浜・川崎などの拠点との更なる連携強化も期待されている。

同盟会の取組

・ 平成25年度に相模線を取り巻く環境の変化を踏まえ、複線化の早期実現に向け、概ね令和27年度までに取り組む内容についてまとめた、「新たな相模線交通改善プログラム」を策定した。

・ 行違い施設整備の検討や駅及び周辺の交通改善、地域の魅力創出の需要喚起施策等を実施している。

令和7年2月12日

相模線複線化等促進期成同盟会
会長　相模原市長　本村　賢太郎

参 考 資 料

相模線複線化等促進期成同盟会の概要

１　設立の経緯

（１）相模線の活性化を図るため、県、沿線市町及び沿線経済団体では、「相模線活性化促進協議会」（昭和６０年５月設立、会長：相模原市長）を組織し、平成３年３月には全線で電化が実現するなど、相模線の輸送力増強等に取り組んできた。

（２）平成９年１１月の東海道新幹線新駅候補地の一本化などを受け、将来の利用者需要に対応するため、平成１０年２月に協議会を解散の上、「相模線複線化等促進期成同盟会」を設立し、複線化を目指した活動を展開している。

２　目　的

ＪＲ相模線の全線複線化の早期実現を目指し、輸送力増強を促進するとともに、沿線地域の発展を図ることを目的とする。

３　事業内容

（１）関係機関への要望、陳情活動
（２）各種情報収集及び調査研究活動
（３）関係団体との連絡、調整
（４）その他、目的達成に必要な事業

４　組織体制

（１）会　員（１１名）
　ア　神奈川県知事
　イ　沿線市町の首長（茅ヶ崎市長、相模原市長、海老名市長、座間市長、寒川町長）
　ウ　沿線経済団体の長（相模原商工会議所会頭、茅ヶ崎商工会議所会頭、海老名商工会議所会頭、座間市商工会会長、寒川町商工会会長）

（２）役　員
　ア　名誉会長　神奈川県知事
　イ　会　　長　相模原市長
　ウ　副 会 長　茅ヶ崎市長、海老名市長、相模原商工会議所会頭
　エ　監　　事　座間市長、寒川町長、座間市商工会会長

（３）顧　問
　ア　沿線選出国会議員
　イ　県議会正副議長、沿線選出県議会議員
　ウ　沿線市町議会議長

（４）事務局
　相模原市都市建設局まちづくり推進部交通政策課